

# 徳島県で予防教育科学を本格実施

## 「効果評価のまとめ」も発行

鳴門教育大学の予防教育科学センターの取り組みは、いじめや不登校などを起こさない子どもの育成をめざしている。本紙4月15日付で、山崎勝之センター長のインタビューを行ったが、その後、同センターでは、「教育の主な構成と効果評価のまとめ」を発行した。

今年度から予防教育科学の授業を実施する学校に予算を補助することも決定している。そこで今回は、「効果評価のまとめ」の内容を一部紹介し、徳島県内でも、積極的に予防教育科学を取り入れていく、藍住町の実践を紹介する。

### 子どもが楽しむ授業

予防教育科学センター

「子どもが楽しむ授業」の数値の評価では、すべての項目で、「自信得点」が上昇、「思いやり得点」が上昇、「スキル得点」が上昇するなどの効果があり、「授業評価の柱」「自己信頼心(自信)の育成」「感情の理解と対処の育成」「向社性」の育成、「ソーシャルスキルの育成」についての「数値的評価について」を紹介している。

「効果評価のまとめ」の内容を一部紹介し、徳島県内でも、積極的に予防教育科学を取り入れていく、藍住町の実践を紹介する。また、「ゲームが楽しく」が23.5%増、「アニメが楽しかった」が予想される。そのように、藍住町で有名な藍住町では、別掲「自信のあなを育てる」のように、町内の4小学校全校で予防教育科学に取り組み、今年度からは、県教育科学センターが発行した「効果評価のまとめ」を参考に授業していた。

### 自信のある子を育てる

藍住町教委の和田哲雄教育長は、徳島県で初めての民間校長として、平成15年度に藍住町立藍住東小学校に就任した。元々は東京の大手化学薬品メーカーに勤務していたが、新聞の記事を見て応募したという。

その後、19年度には藍住南小学校の校長に就任した。今年度は、予防教育科学の取り組みが、町立の6校一斉に始まったという。また、「ゲームが楽しく」が23.5%増、「アニメが楽しかった」が予想される。そのように、藍住町で有名な藍住町では、別掲「自信のあなを育てる」のように、町内の4小学校全校で予防教育科学に取り組み、今年度からは、県教育科学センターが発行した「効果評価のまとめ」を参考に授業していた。



和田教育長

今年度は、予防教育科学の取り組みが、町立の6校一斉に始まったという。また、「ゲームが楽しく」が23.5%増、「アニメが楽しかった」が予想される。そのように、藍住町で有名な藍住町では、別掲「自信のあなを育てる」のように、町内の4小学校全校で予防教育科学に取り組み、今年度からは、県教育科学センターが発行した「効果評価のまとめ」を参考に授業していた。

### Development of self-confidence



### 総評 「自己信頼心(自信)の育成」結果より

**自己評価およびクラス評価**  
 ほぼすべての学年において、自信得点の上昇がみられました(5年生の自己評価のみ)。

**向上度評価**  
 自己信頼心(自信)の育成の授業は、学年が低い年が、中学年(1年生)よりも自信得点が高くなりました。

また、近年は都市化したに伴う子どもの問題も出てきているため、予防教育科学に対する期待も大きい。藍住町立藍住西小学校の青木秀明校長もその効果に期待している。青木校長は、本年、藍住南小学校の校長から藍住西小学校の校長に替わった。しかし、藍住南小学校は、昨年予防教育科学に取り組んできたので、その効果は理解している。脳科学に基づく独特な教材は、今の子どもが持つ課題に対応しているし、「いじめ、不登校、規範意識に直接関わる取り組みは大変意義がある。これからは、教師が授業のスキルを身につけることが大切になってくる」と話していた。